



2015年度 名城大学総合研究所・スポーツ医科学研究センター(兼・実践スポーツ医科研究会) 設立記念シンポジウム

【主催】名城大学総合研究所・スポーツ医科学研究センター

【テーマ】「アスリートの強化、コンディショニングに対するスポーツ医科学研究の役割」

【日時】平成27年12月2日(水)17:00～19:00(16:30～受付開始)

【会場】名城大学天白キャンパス・共通講義棟東 H701講義室
〒468-8502名古屋市天白区塩釜口1-501
TEL:052-832-1151(代)

【シンポジウムプログラム】

1. 開会の挨拶
2. 『名城大学総合研究所・スポーツ医科学研究センターの開設及び実践スポーツ医科研究会(仮称)の設立の趣旨と今後の活動内容について』
スポーツ医科学研究センター・研究代表者 梅田 孝(名城大学薬学部教授)
3. シンポジウム 司会 梅田 孝(名城大学薬学部教授)
 - ①『女子サッカー選手のスポーツ医科学研究とサポート活動の実践例』
シンポジスト 椿原 徹也(医学博士、東京都市大学准教授、元女子ラグビー日本代表ヘッドコーチ)
 - ②『柔道選手のスポーツ医科学研究とサポート活動の実践例』
シンポジスト 古賀 稔彦(医学博士、環太平洋大学教授・同柔道部総監督、バルセロナ五輪金メダリスト)
 - ③『ラグビー選手のスポーツ医科学研究とサポート活動の実践例』
シンポジスト 益子 俊之(医学博士、防衛医科大学校准教授、元早稲田大学ラグビー部監督)
 - ④『女子長距離陸上選手のスポーツ医科学研究とサポート活動の実践例』
シンポジスト 米田 勝朗(医学博士、名城大学法学部教授・同女子駅伝部監督)
4. 総合討論
5. 閉会の挨拶

【参加費】無料

【問合せ先】名城大学薬学部健康スポーツ科学研究室 梅田 孝
TEL:052-839-2700、e-mail:tume@meijo-u.ac.jp